扶　養　の　申　立　書

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 1　被扶養者の氏名等 | 氏　　名 | 性別 | 生年月日 | | | | 続柄 | | 配偶者の有無 | | 住居  区分 | ＊国内居住要件 |
|  | 男  女 | S・H・R 　 　年  　　月　　　日(　　　歳） | | | |  | | 有  無 | | 同居  別居＊ | 例外該当  →４へ |
| ２ 被扶養者の収入状況等 | □　無職無収入です。  □　公的年金収入（遺族・障害年金含む）が、年間　　　　　　　　円です。  　　その他の収入が　（　ある　・　なし　）  □　雇用保険にかかる申立書（裏面）のとおりです。  □　雇用保険による収入が、日額　　　　　　　円です。  □　事業・農業・資産等の収入が、年間　　　　　　　　　　円です。  □　パート・アルバイト等（個人年金を含む。）による収入が、  　月額　　　　　　　円×12月≒年間推計収入額　　　　　　　　円です。  □　別居のため、月　　　　円の送金をしています。（年間推計送金額　　　　　　円）  ※組合員の年送金額等は、被扶養者年間収入額と年送金額の合計の３分の１以上必要です。  □　被扶養者　現況申立書（海外在住）のとおりです。 □　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | | | | | | | | | | | |
| **※**  ３　扶養義務者の状況  □　有（右記のとおり）  □　無  組合員の年間収入額  　（　　　　　　　円） | 氏　　　名 | | | 続柄 | 年齢 | 同居・別居の区別 | | 職業 | | 年間収入額 | | |
|  | | |  |  |  | |  | | 円 | | |
|  | | |  |  |  | |  | | 円 | | |
|  | | |  |  |  | |  | | 円 | | |
|  | | |  |  |  | |  | | 円 | | |
| ４　組合員が扶養(生計を維持)しなければならない**具体的な理由** | ＊国内居住要件の例外【①外国に留学　・②海外赴任に同行　・③就労以外の一時的渡航（観光・保養・ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ等）・④その他（　　　　　　）】該当のため（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）を添付します。 | | | | | | | | | | | |
|  | | | | | | | | | | | |
| ５　被扶養者の前加入健康保険名 | 健康保険名　　　　　　　　　　　　　　（□　本人　・　□　家族の扶養） | | | | | | | | | | | |

**※** 扶養義務者とは、配偶者、父母、兄弟姉妹等をいう。ただし、被扶養者申告書に記入している者及び既に認定している者は除く。

（注）□欄には、該当事項に必ずチェック印してください。

　上記のとおり、認定を受けようとするものは、主として私の収入により生計を維持していることを申し立てます。

なお、被扶養者に認定限度額〔月額１０８，３３３円（年額１３０万円）ただし、６０歳以上の年金受給者又は障害年金受給者は年額１８０万円〕以上の所得が生じた場合、又は扶養の事実がなくなった場合には、延滞なく届け出ることを併せて申し立てます。

令和　　　年　　　月　　　日

文部科学省共済組合　　　　　　　　　支部長　殿

組合員氏名

雇用保険にかかる申立書

私が扶養する　　　　　　　　　　　　　　　　　　　は、

　　（続柄：　　　　、　生年月日　　　　年　　　　月　　　日）

別添のとおり、令和　　　　年　　　　月　　　　日付けで退職しました。

雇用保険法に基づく失業等給付について、下記のとおり申し立てます。

記

１．雇用保険の被保険者となっていないため、受給資格がありません。

２．受給手続きを行っていないため、今後も受給しません。

３．別添の「雇用保険受給資格者証」の写しのとおり、現在受給手続き中のため、待機期間満了後、受給開始したことを速やかに申し出ます。

４．受給手続きを行っていませんが、今後手続きする予定です。その際には速やかに申し出ます。

令和　　年　　　月　　　日

文部科学省共済組合　琉球大学支部長　　殿

申立者　　　所属

　　　　　　　　　　　　　氏名